

《研修参加報告》

「平成28年度人権・同和問題講演会」に参加して

下榎隣保館館長 中田 康介

7月13日、米子市文化ホールで、平成28年度人権・同和問題講演会が開かれました。

「同和問題の解決と人権社会の構築をめざして～差別的言動の動向とその解消のために～」と題し、公益財団法人 人権教育啓発推進センター上級特別研究員（筑波大学名誉教授）の菱山謙二さんの講演を聞きました。

まず、『人権』とは、人であるがゆえに持てる権利、法に定めてあろうが無かろうが守らなければならない権利である」と菱山さん。一方で、「ヘイトスピーチに代表される少数派を阻害する行為が横行している。思い込みやイメージの拡張により、人権が阻害されている（部落問題も特措法で被差別地区のハード（施設）面の整備は85%達成されたがソフト面は整備が進んでいない）」と指摘しました。

続けて、「人間関係によりつくられている社会

が、人間の尊厳に重きを置かない世の中になってきている。住みよい社会構築のためにも、人権価値の持続性と普遍性、自分の利益を相手にも見る、相互の人権尊重が重要である」と話し、「さまざまな人権の多様性を認め合い、差別や偏見のない社会の実現のために、現在も持続する偏見と差別を知り、人権問題としての同和問題を理解し、同和問題解消のため一般対策で努力と工夫による施策（学力保障や就労対策）が必要」と訴えました。

最後に、まちづくりとしての「人権文化・人権制度の構築」を提言し、講演を締めくくりました。

講演を終え、特措法が終了した今、一般対策では施設などの充実は難しいが、部落差別解消に向けた精神面（心）の対策はできると考えます。「人権文化の薫る日野町」を目指し、努力していきたいです。

生活安全教室（防犯教室）のご案内

『悪質商法』から身を守る方法を学ぶ

日時：8月31日（水）午前10時～午前11時30分

場所：老人憩の家

内容：振り込め詐欺など、最近の悪質商法について、黒坂警察署の職員さんを講師に迎え、お話を聞きます。

「自分は大丈夫、と思いませんか？あの手この手と、さまざまな形で詐欺は発生しています。良い機会ですので、詐欺にあわないよう、隣り近所お誘い合わせて、お越しく下さい。

..... 9月の行事予定

◆健康教室

日時：9月14日（水）10:00～ / 場所：老人憩の家 / 講師：高橋伸也さん

◆生け花（草月流）

日時：9月17日（土）13:30～ / 場所：下榎集会所 / 講師：生田清子さん

◆手芸 ※日程調整中です～お楽しみに～

※参加申し込みなど詳しくは、下榎隣保館までお問い合わせください。皆さんの参加をお待ちしています！

『第39回日野町解放文化祭』開催のお知らせ
6月16日、第1回実行委員会を開き、実行委員長に小谷豊さん、副実行委員長に松田暢子さんを選任。「暮らしの中に人権の輪を広げよう！」をテーマに、下榎隣保館・集会所、老人憩の家で、10月8日（土）、9日（日）に開催することが決まりました。
「我が家の自慢展」などの出展作品や「演芸大会」の参加者を募集します。ふるってご参加ください。
詳しくは、広報ひの9月号でお知らせします。

協力隊通信 vol. 8

石村 隊員編③ “移住希望者掘り起しの旅.”



地域おこし協力隊として活動する5人の隊員の日々の活動などを紹介します。8回目となる今回は、石村勇人隊員（上菅）編です。



先日、日本最大の音楽・アート祭典「FUJI ROCK FESTIVAL 2016」(7月22日～24日)のNGO VILLAGEにてブース出展してきました。

このNGO VILLAGEは、さまざまな活動団体が野外フェスティバルの来場者に向け、社会の課題や地球の問題を投げかけ、ともに解決



の一步を踏み出す場です。

今回は、日野町、江府町、大山町の地域おこし協力隊と移住者でチームを組みました。出展内容は、「移住×アート」をテーマに日野町での取り組みを紹介。3日間で300人以上の方々がブースを訪れ、各町の取り組みに興味を持っていただきました。また、ステージでのトークでは、大勢の来場者の前で日野町をアピール。充実した3日間を過ごすことができました。

『アート×田舎暮らし』 新たなまちおこしを模索したい

石村隊員は、8月で3年間の地域おこし協力隊としての任期を終えます。協力隊卒業後、今後の日野町での展開を聞きました。

▶空家から生まれ変わるまち

高齢化や人口減少などで、住む人がいない家が増えてしまうことが、全国的な懸案となっており、この日野町も例外ではありません。空き家の増加は、集落の荒廃や防災面など、多くの問題を含んでいます。そんな地方の大きな問題である空き家を、地域にI・J・Uターンした若い人たちがリノベーションし、新しい人が集う場所として生まれ変わらせる動きがあります。日野町でも、空き家をゲストハウスやアートギャラリーとして活用していければと考えています。

▶人でつながる暮らし

自身も移住してきた経験から、新たな移住希望者や日野町を訪れる人をサポートし、日野町の自然や環境、歴史の素晴らしさ、暮らしの楽しさを伝えています。菅福元気邑や里山元気塾、共生の里などの取り組みをより多くの若者に体験してもらおうと、滞在プログラムなどを作っています。

▶アートでつくるまちづくり

人と人とのかかわりが深い地方ならではの、見るだけではない「アートに参加する」まちづくりを展開していきます。日野町では、昨年奥日野里山藝住祭という、県外からアーティストを招き日野町に滞在してもらいながら作品を作るプロジェクトを開始。まちの人がアートプロジェクトや外からやってきたアーティストの目線を通して、アートの面白さや可能性、気付いていなかったまちの魅力を再発見しています。



日野病院で働こう！

職員募集のお知らせ

日野病院では、現在、次の職員を募集しています。(8月1日現在)

- 薬剤師 (正職員) 1人
- 看護師 (正職員) 3人
- 看護助手 (嘱託職員) 2人

試験内容など、詳しくは、日野病院 (電話 72-0351) までご連絡ください。

